



目が、陽の光を感じると、体内時計が調整され、仕事の能率UPにつながる。日の出が早く、光が強い夏の今。早起きの習慣づくりを始めましょう。

くらしのアンテナ

日本でのミツバチの大量死、その始まりは2003年の熊本県。みかん畑に農薬散布がなされた後、ミツバチの大量死が起きました。その後、岩手県、北海道、兵庫県と全国に広がっています。

農薬はずっと以前から使われているのに、どうしてこの10年、ミツバチが大量死するのでしょうか。



ミツバチがいなくなる !?

それは、2000年頃から新しい型の農薬、ネオニコチノイド系農薬が使用され始めたからだと言われています。この農薬はそれまでのものと違って、浸透性の農薬で、効果が長期間持続するのが特徴です。

苗を育てるときにこの農薬を使うと、収穫時までその効果は続くので、農薬使用回数を大幅に減らすことができます。農作業が格段と楽になるうえ、減農薬作物(?)ができるのでこの十年、急速に普及しました。最近では、稲や野菜の育苗時によく使われ、山林では松枯れ防止のため、空中散布までされています。

でも、虫も寄り付かず、洗っても落ちない農薬の入ったものを食べて、大丈夫?

この農薬の毒性は、神経伝達物質の受容体に結合して、神経伝達をかく乱するというものなので、農薬の浸透した蜜をミツバチが吸うと、帰巢本能が狂い、大量死に至るといわれています。

ヨーロッパでも同様にミツバチの大量死が起き、フランスでは2006年に、この農薬を使用禁止にしました。(その後ドイツ、イタリア等でも)そして、今年4月、EUでも使用禁止が決まりました。

自然界で、植物の受粉を引き受けてくれる大切な生き物でもあるミツバチ。その激減により、野菜や果物づくりにも被害が及んでいます。さらには、アカネトンボや鳥などへの被害の報告も。

虫や鳥がいつの間にか姿を消していたということにならないために、ネオニコチノイド系農薬の使用禁止が急がれます。

※ 農薬によるミツバチ被害は2009年に全国で 1 万 1 5 5 3 群(1群は2~4万匹)に2億匹(日本養蜂はちみつ協会)

ちょこっと
情報



ぱりぱりピザ ~ 皮が余ったら ~

【材 料】適宜
餃子の皮
ケチャップ
たまねぎ
ピーマン(パセリ)
ハム
とろけるチーズ

- ①ぎょうざの皮2枚を重ねる(皮の間に水をつける)
 - ②ケチャップ、みじん切りの玉ねぎ、ハム、とろけるチーズ、ピーマンを順にのせて、オーブンで焼く。
- フライパンにフタでもOK。

※市内保育園で聞きました

輝く笑顔に会った

ある町内会の畑のできごとだ。畑にサツマイモの苗を植え付けにおおぜいの人が集まってきている。その真ん中に大きな土の山があった。

一人の子がよじ登って走り下りた。乾いた土の山だからほこりが舞い上がる。もう一人の子も登る。

あっ！おしりをついて下りてくる。山の周りをぐるぐる走り回る子もいる。



2歳児くらいだろうか、ヨチヨチ登ろうとするがすぐに座ってしまった。手を差し伸べているのは小学生くらいだろうか。その子の手も衣服もどろだらけ……。水を混ぜておだんごを作る子も。まん丸のどろ団子はなかなかできない。一心不乱だ。

大人の役割

はだし

「この山は今年で2年目です

が、子どもはよく遊びますよ」と町内会の主催者は話す。

「あぶない・きたない」からと誰も止めない。

たった、こんな山があるだけで、子どもたちは遊びを見つけて、工夫し夢中になって遊んでいる。

冒険心をくすぐったり、自分を発散させる環境があれば放っておいても、子どもたちは遊びに没頭し、おのずと笑顔が湧いてくる。

どろんこ

ちよつと気がかりな現象

最近、社会全体が清潔志向になり、子どもが泥んこになつて遊ぶことや、せっかく外で見つけた虫などの生き物を、家に持ち込むことを嫌う家庭も増えていると聞く。

土の中には無数の微生物や細菌も含まれている。土遊びをするうちに、子どもはいつしか、大切な免疫力を獲得していくと言われているのだが……

外遊びしてる？

はだし・どろんこ・水遊び

飛び出せ 外へ

それには、外遊びを通して子どもが心身ともに健やかに育つことを願い、それを見守る大人たちがいることも大切だ。

「今日は「ダメダメ」と言わずに思い切り遊ばせたい」と、一人のおかあさん。

子どもたちの輝く笑顔はそんな親や周りの環境に支えられている。

水遊び

はだし・どろんこ・木登り・水遊び、子どもたちはそんなことが大

好きだ。ひんやり・ヌルヌル・ちくちく……。そんな感触をおもしろがり、何かを発見していく。



子どもを外に誘い出し、遊びに付き合うのは、ちよつと億劫な気もするが、喜んで遊ぶ姿を見ると、それも吹き飛んでしまう。

羽村のあちこちで

羽村には向こう山や多摩川があり、田んぼや畑もある。子どもたちが土や風を感じ、不思議を見つける良い場所がいっぱいある。

ねがらみ前の田んぼでは、田植えや稲刈り体験ができる。

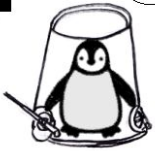
市内のあちこちの畑では、区画を買ってイチゴ摘みやイモ掘りもできる。土を掘っておイモが出てきた時には歓声と笑顔があふれるだろう。

ほたるや野鳥の観察会、動物園の夜間観察会も面白そう。

もうすぐ夏休み……。ワクワク・ドキドキする遊び、見つけてみませんか。

お知らせ

夏休み体験教室



作ってあそぼう!!

希望の番号を伝えてください

- ①紙とんぼ（室内でも飛ばせるよ）
- ②よちよち動物（紙コップ・ナイフを使って）
- ③下駄を作って履いてみよう（ノコギリを使って）

日 時 : 8月3日(土) 9:00~12:00
 場 所 : 消費生活センター2階活動室
 参加費 : 200 円(含む保険代)
 対 象 : 小学生(低学年は保護者同伴)
 申し込み : 7月19日(金)までに
 指 導 : 「ねじまわし」の会員さん

みなさんの所に伺います 移動消費生活センター



- ・保育園・幼稚園児対象のお面劇
 - ・小学生対象「糖度・着色料の実験」と「家計を知ろう!消費生活体験教室」
 - ・町内会・ふれあいの会 など
- どうぞ、声をかけてください。

第44回消費者展と一緒に企画しませんか
 消費者展は11月2日・3日です。
 消費生活センターへお問い合わせください。

第40回 青空市—5月18日—

今回も東日本大震災復興支援 として
 わかめ、布花などの販売をしました。
 売上金は、南三陸町波伝谷仮設住宅、
 切倉木仮設住宅へお送りしました。
 御協力ありがとうございました。

落し物：サイズ50の藍色の帽子。
 センターでお預かりしています。

報 告

参加者の声・・・

「子どもや孫のために、
 何か始めないとね」

第34回消費者の日 第1弾

小澤祥司さんの話を聞く会
 (環境ジャーナリスト)

「こんな電気が欲しい!」

ヨーロッパのエネルギー事情を知って
 日本での可能性を考える

日 時 : 7月17日(水)
 10:00~12:00

場 所 : ゆとろぎ 講座室 A

*保育・手話のお申し込みは
 7月9日(火)までに

DVD 上映会

みんなで一緒に観ましょう

7月29日(月) 10:00~12:00

「バイオ燃料」 「バームオイル」

9月30日(月) 10:00~12:00

「HARD RAIN ハード・レイン」

—パンドラの箱から降り注ぐ放射能—

場所：羽村市消費生活センター2階活動室

今月のおすすめ 本・DVD

本 「新農薬ネオニコチノイドが
 日本を脅かす」

著者：水野玲子 出版：七つ森書館

DVD 「原発 ほんまかいな」
 原発ほんとうに再稼働しても大丈夫？

制作：アジア太平洋資料センター

貸出しもしています。ご利用ください。

第1回消費生活講座—5月24日—

小水力発電 施設見学会
 都留市 家中川にかかる水車
 元気くん1号、2号、3号を
 見てきました



消費生活センター相談室からのお知らせ

● 消費生活相談とは ●

商品購入などの際のトラブルや、消費生活全般に関する疑問や問い合わせなどの相談を専門の相談員が行っています。

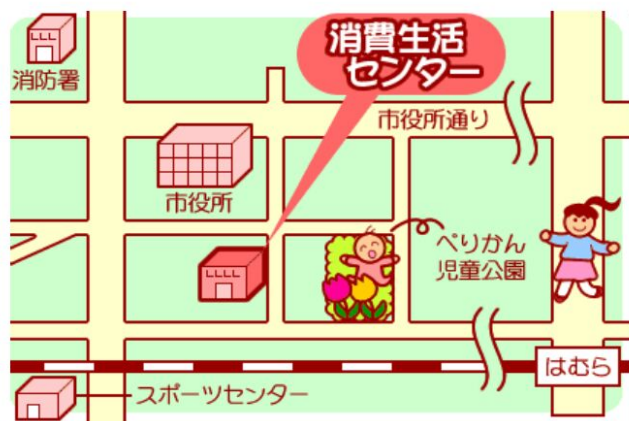
**困ったら、まず
消費生活センターへ**

消費生活センター
相談日・相談時間
月～金曜日
午前9時～12時
午後1時～4時
TEL (042) 555-1111
(内線 641)

平成24年度
相談受付件数⇒470件



平成23年度の相談件数(465件)に比べ、5件増加しています。様々な新しい手口の悪質商法はあとを絶たず、複数の人が役割りを演じて騙したりと巧妙になってきています。



相談は、電話、来所どちらでもお受けしております

相談の内訳

相談件数470件の内訳は、下表のとおり男女別では、女性の相談の方が多くなっています。幅広い年代から相談を受けていますが、70歳以上がトップで次に60歳代と高齢者の相談が多くなっています。簡易な助言で済むものだけでなく、解決するまで長期に渡り交渉しなければならないものなど、複雑な相談も増えています。消費者被害防止の啓発活動を強化していきます。また、若い世代ではインターネットによる契約などの相談事例が増加傾向にあります。

相談の多かった商品・サービス

第1位 運輸・通信 ⇒ 77件

インターネットや携帯電話でのアダルト系、出会い系の情報サービスに関わる料金の請求や、過去のデータや名簿等を基に債権回収業者と名乗るものからの不当請求や架空請求の相談です。

第2位 金融保険サービス⇒ 59件

高齢者の方から、高金利の投資に関する詐欺的な金融商品についての相談が増えています。近年は手口が複雑・巧妙化しています。情報収集など、日頃からの注意が必要です。

	平成24年度		平成23年度	
	件数	比率 (%)	件数	比率 (%)
20歳未満	12	2.6	19	4.1
20歳代	34	7.3	25	5.4
30歳代	47	10.0	50	10.8
40歳代	45	9.6	68	14.6
50歳代	61	13.0	43	9.2
60歳代	72	15.3	90	19.4
70歳以上	92	19.5	102	21.9
その他不明	107	22.7	68	14.6
合計	470	100	465	100

	平成24年度		平成23年度	
男性	166	35.3%	190	45.6%
女性	214	45.5%	233	48.8%
企業団体	90	19.2%	42	5.6%